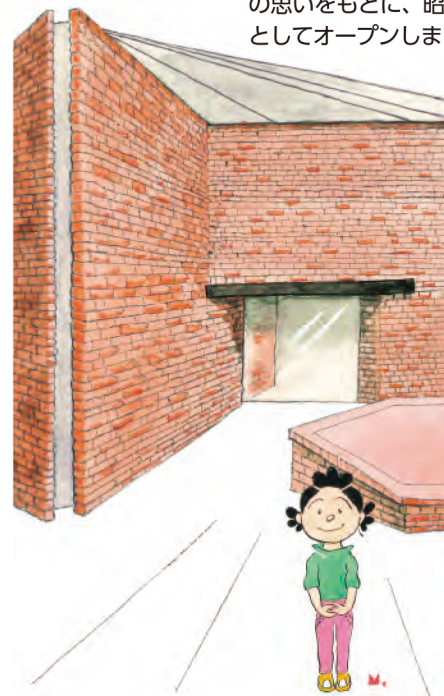


サザエさんは ジョッキーベイビーズを応援しています。

協力/長谷川町子美術館

長谷川町子美術館は、「サザエさん」の漫画作家として知られる長谷川町子さん(1920-1992)が、姉の穂子さんと共に蒐集した美術品を、広く社会に還元しようとの思いをもとに、昭和60年11月3日に長谷川美術館としてオープンしました。

平成4年、長谷川町子さん没後は、館名が現在の長谷川町子美術館に改められています。町子コーナーでは、「サザエさん」「いじわるばあさん」「エプロンおばさん」などの原画や、長谷川町子さんが手がけた陶芸や水彩などの作品もご覧になれます。どうぞご来館ください。



- ご利用案内**
- 開館時間 午前10時～午後5時30分(入館は午後5時まで)
 - 休館日 月曜日(祝日の場合、その翌日)、展示替期間、年末年始
 - 入館料 一般600円 大高生500円 中小生400円
※団体20名様以上、65歳以上、障がい者手帳をお持ちの方と
その介添えの方(各100円割引)
- 交通案内**
- 東急田園都市線 桜新町駅下車(徒歩7分)
 - 東急バス 桜新町1丁目下車(徒歩1分)
目黒駅一弦巻営業所(黒07)
都立大学駅北口一成城学園前(都立01)

長谷川町子美術館
〒154-0015 東京都世田谷区桜新町1-30-6
TEL.03-3701-8766 FAX.03-3701-3995
<http://www.hasegawamachiko.jp/>

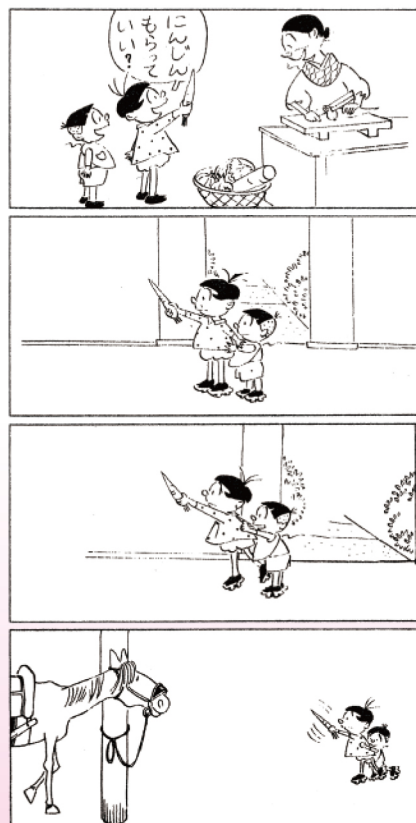


美術館内、売店にて
サザエさんグッズを
販売しております!



サザエさん

昭和29年11月17日、
朝日新聞に掲載されたサザエさん。
ワカメとタラちゃんも、
ポニーなら怖くない!?



©長谷川町子美術館

サザエさんも応援!! 全国ポニー競馬選手権 10月12日(日) 東京競馬場

『第6回 ジョッキーベイビーズ』 出場選手紹介

全国8地区の予選会で選ばれた小学4年生～
中学1年生の子供たち8名による
ポニー競馬の決勝レース!

発走:東京競馬最終レース終了後
距離:400m(芝コース・ホームストレッチ)



8	7	6	5	4	3	2	1	枠番
九州地区代表 吉永 彩乃さん	関西地区代表 角田 大和くん	東海地区代表 伴 凌次くん	長野地区代表 小林 勝太くん	関東地区代表 佐藤 翔馬くん	東北地区代表 佐藤 優帆さん	北海道札幌地区代表 鎌田 彩緒さん	北海道浦河地区代表 宮内 勇樹くん	選手名
								顔写真
12歳 中学1年生 乗馬歴5年	13歳 中学1年生 乗馬歴3年	11歳 小学5年生 乗馬歴4年	11歳 小学6年生 乗馬歴8年	9歳 小学4年生 乗馬歴6年	13歳 中学1年生 乗馬歴3年	12歳 中学1年生 乗馬歴8年	12歳 小学6年生 乗馬歴5年	年齢 学年 乗馬歴
<p>最高の結果で終わりたい 3年前(3着)、去年(3着)に続いて3度目のジョッキーベイビーズ出場を果たす吉永彩乃さん。「最初は馬が好きで草馬に出場していましたが、このジョッキーベイビーズのおかげで、馬の乗り方や扱い方など色々な事を勉強出来ました。たくさんの人にお世話になりました。最後のジョッキーベイビーズを九州地区代表として、最高の結果で終わるように、人馬一体となつていいレースをしたいです」</p> <p>2回目の優勝を狙いたい 「昨年のこの大会で優勝してとても嬉しかったので、また出られて良かったです。本戦ではムチが使えないので、今年予選を突破してから、体とテクニックで追う練習をしてきました」と語ってくれた小林勝太くん。「色々なレースに出場した経験を生かして、長野地区代表として恥じない騎乗をし、再び優勝してここまで応援してくれた方々に喜んでもらえるように、頑張りたいです」</p> <p>優勝出来るように集中して頑張ります 「予選では勝つ事だけを考えて、集中してレースに挑みました。僕の気持ちに馬も応えて最後までしっかり走ってくれたので勝つ事が出来ました」と語ってくれた角田大和くん。「いつもどんな馬でも乗りこなせるような練習をしてきているので、決勝でコンビを組む馬の力を最大限に出す事が出来るよう、頑張りたいです」</p> <p>絶対騎手になりたい 「馬が好きで、将来は馬関係の仕事がしたい」という鎌田彩緒さん。「そのためにも、ずっと乗馬は続けて来ましたが、今回ジョッキーベイビーズの予選で初めて競馬に乗ってみると、びっくりするくらい楽しくて、絶対に騎手になりたいと思うようになりました! 本番に向けては、馬の力を出し切れるように、バランス良く馬の邪魔をしない騎乗を目標に練習して、人馬一体になって勝ちたいです」</p> <p>プレッシャーを力に変えたい 「全国選手権という大舞台に、東北地区の代表として出場するからには、応援してくれるみんなの期待に応えられるよう、精一杯頑張ります」と意気込む佐藤優帆さん。「このステージに立てるのも初めて最後のチャンスなので、絶対に悔いの残らない騎乗をして、指導してくれる先生や先輩達に、良い報告で恩返しをしたいです」</p> <p>馬をまっすぐ走らせて優勝したい 「予選を勝つたのは良かったのですが、レースでは馬がよれてしまったので、そこが反省点です」と、予選を勝ち抜いた喜びよりも先に、冷静にレースでの反省点を語ってくれた佐藤翔馬くん。「その食欲な姿勢は、父親である川崎競馬の佐藤博紀騎手譲りだろうか。「本戦では、きれいな姿勢で騎乗し、馬をしっかりとまっすぐに走らせて、優勝したいです」</p> <p>将来の夢はジョッキーです 「憧れの東京競馬場、ジョッキーベイビーズに出る事が出来て、本当に嬉しいです」と語る宮内勇樹くん。「当日は、馬に負担が掛からないように気を付けながら、悔いの残らないような一杯全力で頑張りたいと思います。そして、応援してくれているみんなの為に優勝したいです」</p>								意気込み

※スタート時のコースの並びは、馬の状態等により、枠番どおりにならないことがあります。